

# 平成16年観光客動態調査結果について

## 1 平成16年における観光客動向

- ・平成16年(1月～12月)における本県の観光客数は23,258千人で、前年に比べ41千人の増加となり、1.8%の増となった。

これは、きらら博が行われた平成13年(25,504千人)より3年ぶりの増加となり、きらら博入場者数2,514千人を除くと7年ぶりに23,000千人台を超えた。

〔主な増加地区〕

(単位：千人、%)

市町村名	増加	対前年比	主な要因
岩国市	550	+21.7	錦帯橋の架け替え完了効果
山口市	215	+12.2	山口情報芸術センター、菜香亭オープン効果
山陽町	154	+64.9	みちしお温泉オープン効果

〔主な減少地区〕

(単位：千人、%)

市町村名	減少	対前年比	主な要因
下関市	262	7.1	巖流島観光客の減少
長門市	83	8.0	下半期の台風の影響
豊北町	73	11.4	下半期の台風の影響

## 2 県外・県内別観光客の動向

- ・県内客は、山口市の山口情報芸術センター、菜香亭、山陽町のみちしお温泉のオープン効果により、大幅に増加し、全体としても増加している。

・県外客は、岩国市が錦帯橋架け替え完了で大幅に増加したものの、全体としては、微増となっている。地域別には、中国・四国・中部からの県外客は増加しているが、九州・近畿・関東以北からの県外客は、減少している。

## 3 日帰り・宿泊別観光客の動向

- ・日帰り客は、大幅に増加している。
- ・宿泊客は、やや減少している。

詳細は別紙「平成16年山口県観光客動態調査結果資料」のとおり

【 山口県における過去10年間の観光客数 】

( 単位：千人、% )

年	観光客数	前年対比	H7年基準	特記事項
7	22,884	98.7	100.0	阪神大震災、景気低迷
8	24,104	105.3	105.3	大型観光施設のオープン、大島大橋無料化、O-157
9	23,965	99.4	104.7	毛利元就キャンペーン、夏場の天候不順
10	22,110	92.3	96.6	明石大橋開通、景気低迷、サビエル記念聖堂再建
11	21,051	95.2	92.0	しまなみ海道開通、景気低迷、夏場の天候不順
12	21,231	100.9	92.8	角島大橋開通、秋吉台エコミュージアム、好天候
13	25,504	120.1	111.4	大型観光キャンペーン実施(7月～9月)、山口きらら博の開催、「海響館」のオープン
14	22,862	89.6	99.9	首都圏・九州観光キャンペーン開始、錦帯橋の架け替え、冠山総合公園オープン、ダブルトラック化
15	22,849	99.9	99.8	大河ドラマ「武蔵」の放映、錦帯橋の架け替え、金子みずゞ記念館オープン、のぞみ停車
16	23,258	101.8	101.6	錦帯橋の架け替え完了、山口情報芸術センターフルオープン、下半期の悪天候

